

特定本邦航空運送事業者()に関する航空輸送サービスに係る情報公開(平成21年4～6月)のポイント

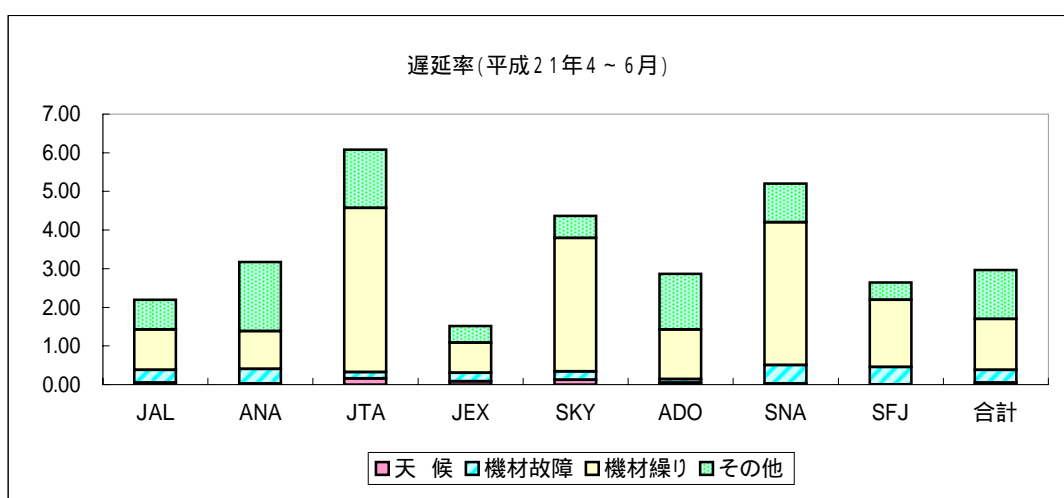
日本航空(日本航空インターナショナル及びジェイエアを含む)、全日本空輸(エアニッポン、エアネクスト、エアニッポンネットワーク及びエアセントラルを含む)、日本トランスオーシャン航空、シャルエクспレス、スカイマーク、北海道国際航空、スカイネットアジア航空及びスターフライヤー

1. 輸送サービスの比較等に関する情報

(1) 遅延率(平成21年4月～6月)

当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
2.97%	4.53%	1.56ポイント減少

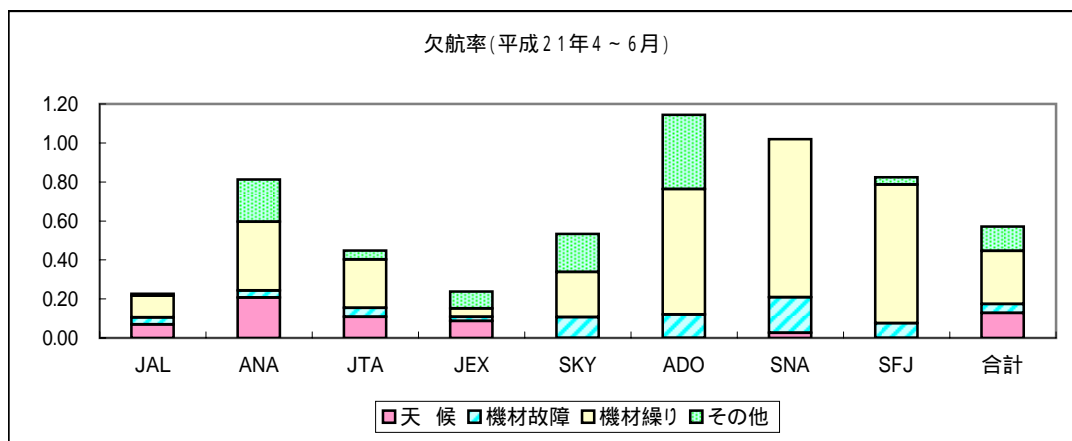
備考)「遅延便」とは、出発予定時刻より15分を超えて出発した便をいう。



対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。(夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。)

(2) 欠航率(平成21年4月～6月)

当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
0.57%	0.79%	0.22ポイント減少



対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。(夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。)

2. 運賃関連情報

(1) 輸送実績(平成21年4～6月)

項目	当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
平均搭乗区間距離	906km	897km	1.0%増
輸送人員	1860万5209人	2149万1127人	13.4%減
輸送人キ口	168億5937万人キ口	192億7452万人キ口	12.5%減
旅客収入	2779億70百万円	3294億95百万円	15.6%減
輸送人員あたり 旅客収入	14.9千円	15.3千円	2.6%減
輸送人キ口あたり 旅客収入	16.5円	17.1円	3.5%減

(2) 路線別データ(平成21年4～6月)

旅客数

上位5路線は次のとおり。

1位 東京＝札幌	199万6972人
2位 東京＝福岡	174万3173人
3位 東京＝大阪	121万0009人
4位 東京＝那覇	109万2690人
5位 東京＝広島	47万4817人
全路線	1856万1697人

利用率

上位5路線は次のとおり。

1位 札幌＝静岡	83.6%
2位 関西＝函館	82.2%
3位 那覇＝静岡	81.2%
4位 中部＝石垣	76.4%
5位 大阪＝那覇	74.7%
全路線	55.2%

下位5路線は次のとおり。

1位 大島＝八丈島	10.1%
2位 札幌＝旭川	22.0%
3位 東京＝大島	22.8%
4位 関西＝高知	29.8%
5位 札幌＝稚内	31.8%
全路線	55.2%

3. フレックストラベラー制度()に関する情報

平成21年4～6月フレックストラベラー制度を有する航空会社又はグループの全輸送人員に対する不足座席数の割合(1万人あたり)が高かった上位3社は次のとおり。

()オーバーセールス(搭乗手続きに来た予約客の数が提供座席数を上回る結果、座席を提供できない予約客が発生すること)の発生が判明した時点で、自主的に搭乗を取りやめる旅客を航空会社が幅広く募集する。

	全輸送人員に対する不足座席数の割合 (1万人あたり)	
	当期実績	前期実績
北海道国際航空	1.62人	0.62人
全日本空輸	1.23人	1.14人
日本エアコミューター	1.04人	1.30人
全社平均	0.81人	0.76人